

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ)	授業コード	E002613
担当教員名	高橋 淳一郎	科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分	必修	単位数	4
履修上の注意または履修条件			
受講心得	ゼミナールなので、自分の興味・関心のあることがらについて、積極的に学習してください。		
教科書	卒論・修論をはじめのための 心理学理論ガイドブック 夏堀睦・加藤弘通(編) ナカニシヤ出版		
参考文献及び指定図書	必要に応じて授業中に紹介します		
関連科目	発達心理学、臨床心理学、精神保健学、カウンセリング、心理アセスメント、社会心理学		

授業の目的	私たちは一生涯を通じて多くの人と出会い、多くの対人関係の中で生きていきます。もちろん、これまでも学生のみなさんはたくさんの対人関係の中で生活し、たくさんの喜びや悩みを経験してきたことでしょう。そして、それはこれから社会に出るにあたってもっと大きく広がっていきます。対人関係が広がっていくということは、それに伴うストレスや悩みも必然的に増えていくわけですが、私たちの身の回りにはそれらを上手に処理できる人とできない人がいます。現実的にはストレスなどをうまく処理できない人が増えているとも言われています。そのような社会の実情を踏まえて、人がどのように対人関係を結べるようになるのか、つまづいてしまった人をどのように援助できるのかというテーマを通して心理学的に他者との関係を学んでいきます。
授業の概要	4年生で卒業研究を進めるうえで必要な心理学的な知識・理論の代表的なものを、テキストを通じて学んでいきます。全員に発表とレポート提出を求めます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
2年次に学んだ内容を基礎として、3年次には心理学的な理論の基本的・代表的なものをしっかりと学んでいきます。テキストを読み、その内容をまとめて発表し、討論し、討論の結果をレポートにまとめるという一連の作業を通じて理論を身につけていきます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①自ら進んで討論に参加し、意見を発表することができる。
【知識・理解】	②テキストを通じて理論を理解することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	③テキストにある理論について自分の言葉で説明することができる。
	④討論の中で、適切な質問と説明ができる。
【思考・判断・創造】	⑤理論の学びを通じて、自らの卒業研究の課題を発見できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			25点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。			25点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			25点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			25点	
<b>(「人間力」について)</b>				
※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	予習を含めた学びの姿勢や参加の態度などを総合して評価する。